水産資源研究会：磯焼け回復を目指して～カジメの培養～

長井海洋実習場の目の前に拡がる相模湾沿岸は、近年海からカジメ・アラメ・ホンダワラなどの海藻が消える磯焼けという現象が起きています。磯焼けが起こると、アワビなどの海藻を食す生物はもちろん、海藻を隠れ家にしていた魚なども減ってしまい、生き物だけでなく漁業にも大きな影響を及ぼします。

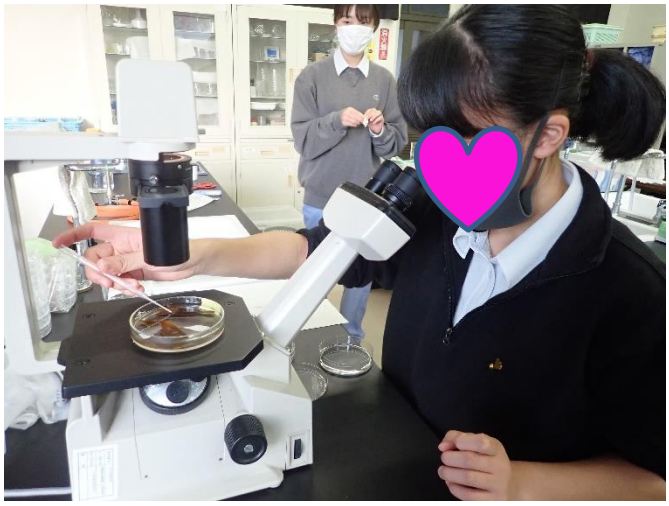
そこで、水産資源研究会「海藻グループ」では、海藻のうち、アワビの餌となり、藻場を形成していたカジメという海藻の培養（種苗生産）を県水産技術センターに教わりながら始めることにしました！

まずは遊走子という種のようなものを採取したあと、試験管の中で大事に育てました。しばらくして、ちいさな葉が・・・！！過去にも培養を試みたことがありますが、ここまで育ったのは初めてです！今は 30L の水槽に移して、さらに大きく育つか試みています。

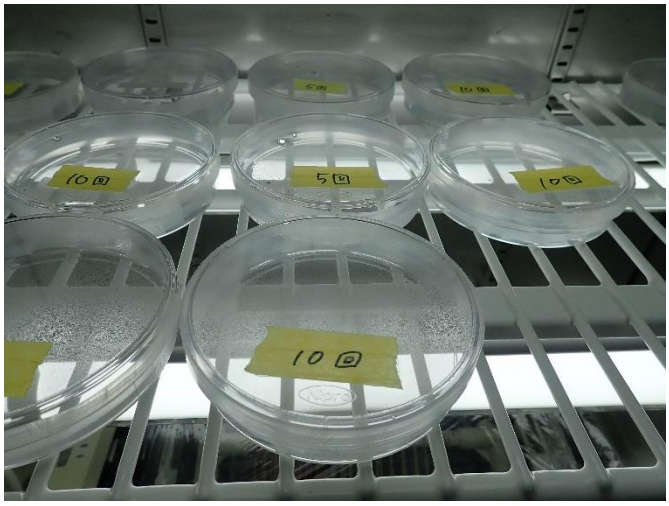
カジメやアラメが多く生育する豊かな海

海藻や生き物が消えた磯焼けの海

カジメの葉部の色が濃くなっているところが子嚢斑（しのうはん、生殖腺のようなところ）で、ここから遊走子（種）が出ます。

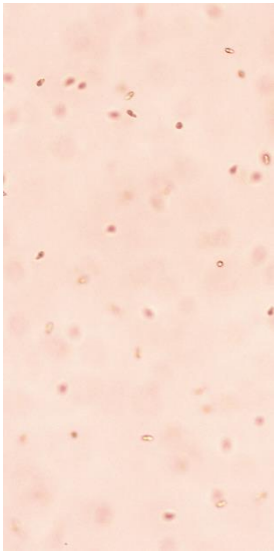


2020 年 11 月、子嚢斑に刺激を与えると遊走子が放出されました。それをスポイトで吸い取ります。

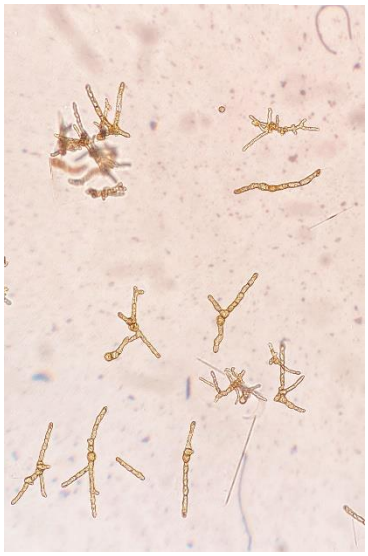


遊走子が入ったシャーレ

「カジメの生長」

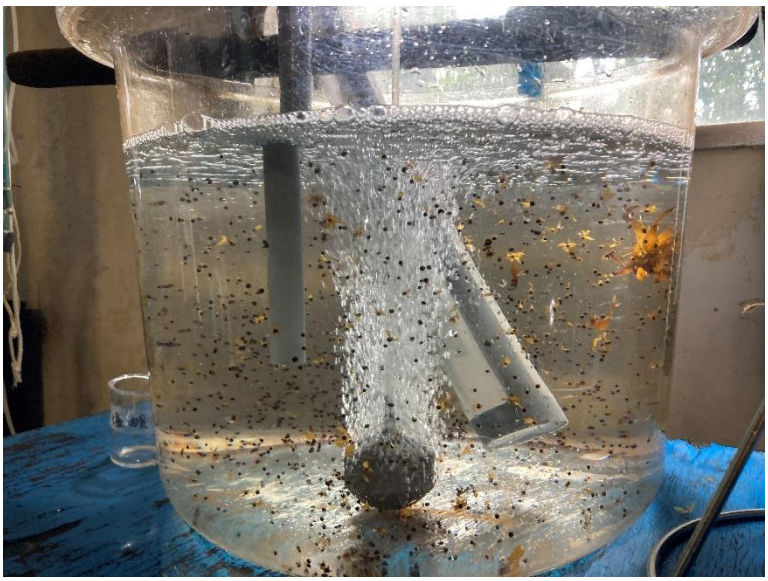


遊走子



配偶体

幼　芽



2021 年 6 月、幼芽がたくさん育ったので大きな水槽に移しました。さらに生長するか実験中です！